

基本情報

所属	現代ビジネス 学部 国際社会学科	氏名	大形 里美 Ohgata Satomi
職名	教授	E-mail	ohgata@cb.kiu.ac.jp
		研究室ウェブサイト	

■ 学歴・取得学位

1990(平成 2)年 3 月	東京外国語大学外国語学部インドネシア・マレーシア語学科卒業
1993(平成 5)年 3 月	東京外国語大学大学院外国語学研究科修士課程修了 文学修士
2006(平成 18)年 3 月	北九州市立大学 社会システム研究科博士課程（地域社会システム専攻）単位取得満期退学

■ 主な職歴

1995(平成 7)年 4 月 -1999 (平成 9) 年 3 月	東京外国語大学 非常勤講師 ／東京地方裁判所 通訳 他
2000 (平成 12) 年 4 月	九州国際大学（現在に至る）

教育活動

■ 主な担当授業科目

○ 学 部：インドネシア語、比較宗教論、カルチュラル・スタディーズ(宗教)、入門セミナー、専門演習、卒業研究
--

■ 教育上の特記事項

○ 教科書・教材：『インドネシア語を学ぼう』朝日出版社 2016 年
○ 免許・資格： インドネシア語技能検定試験受験者の指導

研究活動

■ 研究分野

研究分野	インドネシアのイスラム
主な研究テーマ	インドネシアのイスラム社会運動
キーワード	イスラム、ジェンダー、思想

■ 主な著書・論文等

著書
○ (共) 『結婚と離婚』(イスラーム・ジェンダー・スタディーズ 1) 2019 年 長沢 栄治 監修、森田 豊子 編著、小野 仁美 編著

「インドネシアにおける結婚——夫多妻婚、秘密婚、異教徒間の婚姻」

- (共)『東南アジア文化事典』丸善出版 2019年
信田敏宏(編集)「女性と政治」pp.504-505.
- (単)『インドネシア語を学ぼう!』朝日出版社、2016年
- (共)『現代インドネシアを知るための60章』明石書店、2013年
「ジェンダー」pp.91-95、「イスラム急進派の動向」pp.245-249、「イスラーム防衛戦線 イスラーム服を着たチンピラ」pp.250-252

論文

- (研究ノート)「グローバル化時代における日本の国内向けハラール・サービスをめぐる諸問題：ハラール基準に関する誤解がもたらしているもの」『九州国際大学国際・経済論集』第8号, 2021年9月, pp.35-70, 査読無.
- (共) 基調講演記録：九州国際大学現代ビジネス学部主催 ハラーム対応に関する第2回 公開シンポジウム(講演録)『九州国際大学国際・経済論集』第7号, 2021年, pp.81-120. 査読無.
- (単)「日本における「ハラール対応」の現状と課題 —レストラン『極味や』による「ハラール対応」の取り組みと福岡マスジドにおける「ハラール認証」無料発行の意義—」『九州国際大学 国際・経済論集』九州国際大学現代ビジネス学会, 第6号, 2020年10月, pp.1-36, 査読無.
- (単)「Kondisi Layanan Halal di Jepang dan Tantangannya: Melalui Pengalaman Mensupport Restoran“Kiwamiya” 日本におけるハラール対応の現状と課題 —レストラン「極味や」のサポート経験から—」『日本インドネシア学会』第27号, 日本インドネシア学会, 2021年, pp.36-56.
- (単)「インドネシアにおける異宗婚をめぐる状況—リベラル派イスラムと保守派イスラムの対立—」『九州国際大学国際・経済論集』第5号, 2020年3月, pp.21-54, 査読無.
- (単)「インドネシアにおけるLGBT運動を取り巻く状況—LGBT運動の展開と近年の対立の構図—」『九州国際大学国際・経済論集』九州国際大学現代ビジネス学会, 第3号, 2019年3月, pp.47-78, 査読無.
- (単)「女子割礼とインドネシアのイスラム社会—リベラル派と保守派の交錯—」, 『九州国際大学社会文化研究所紀要』第70号, 2012年8月, pp.49-92, 査読無.
- (単)“Changing Japanese Society and Women” Shakai Bunka Kenkyusho Kiyo Vol.66, Institute of Social Science and the Humanities in Kyushu International University, August 2010, pp.51-68, 査読無.
- インドネシアにおけるイスラム教徒のイスラム教義理解とその実践、及びジェンダー規範—意識調査の分析(その2)：ジェンダー関連項目—, 九州国際大学 国際関係学論集 第5巻1・2合併号, 2020年3月, pp.97-136, 査読無.
- (単)「ジェンダー平等の視点からイスラム法学を再構築する試み—インドネシアのウラマー：フセイン・ムハンマド氏の思想と活動—」, 2009年3月, 早稲田大学イスラム科学研究所『イスラム科学研究』第5号, pp.29-42, 査読無.
- (単)「現代インドネシアにおけるイスラム教徒のイスラム教義理解と実践に関する意識調査」, 『九州国際大学国際関係学論集』第4巻第1・2合併号, 2009年3月, pp.117-157, 査読無.
- (単)「インドネシア・ムスリム社会における宗教的寛容性—「リベラル派イ

スラム」とその周辺 (II)」, 『九州国際大学国際関係学論集』第 3 巻第 1・2 合併号, 2008 年 3 月, pp.1-39, 査読無.

- (単) 「インドネシア・ムスリム社会における宗教的寛容性—「リベラル派イスラム」とその周辺 (I)」, 『九州国際大学国際関係学論集』第 2 巻第 2 号, 2007 年 3 月, pp.1-50, 査読無.

学会発表

- (単) “The Importance of Setting Local Halal Standards and Their Implementation,” ASIA PACIFIC CONFERENCE 2021, APU-Research Center for Muslim Affairs Session: “Challenges in Implementing Muslim Friendly Hospitality Services (MFHS) in Japan” 5th December 2021.
- (単) ”The Practice of FC in Indonesia ~ Current options/ feelings of the people.” AP カンファレンス (2020 年 11 月 14 日) Zoom 開催 (hosted by アジア太平洋立命館大学)
- 「日本におけるハラール対応の現状と課題—レストラン「極味や」を事例に—Kondisi Layanan Halal di Jepang dan Tantangannya---dari Studi Kasus Restoran “Kiwamiya” 第 51 回日本インドネシア学会大会 (2019 年 11 月 24 日) Zoom 開催 (hosted by 東京外国語大学)
- (単) ”Current State and the Transformation of Female Circumcision in Indonesia,” AP カンファレンス (2019 年 11 月 30 日) 於: アジア太平洋立命館大学
- (単) 「インドネシアにおける女子割礼: 政策の変化と現状」第 50 回日本インドネシア学会大会 (2019 年 11 月 24 日) 於: 大阪大学 豊中キャンパス
- (単) 「インドネシアにおける婚姻法改革をめぐる状況 —異教徒間結婚についての議論—」第 49 回日本インドネシア学会 (2018 年 11 月 18 日) 於: 南山大学
- (単) 「インドネシアにおける性的マイノリティーを取り巻く状況～インドネシアにおける LGBT 運動の発展プロセスと LGBT 運動をめぐる対立の構図～」第 48 回日本インドネシア学会 (2017 年 11 月 11 日) 於: 天理大学
- (単) 「イスラム新興ビジネスの担い手: ヒジャバーズ・コミュニティーのメンバーたちのイスラム教義理解と実践のあり方～実証研究の成果から見えてきたこと～」第 47 回日本インドネシア学会 (2016 年 11 月 19 日) 於: 愛知県立大学
- (単) “Dinamika perkembangan Bisnis Islam baru di Indonesia” ASJI (インドネシア日本研究学会) 主催研究会 (2015 年 3 月 3 日) 於: インドネシア大学、日本研究センター
- (単) 「インドネシアにおけるイスラム新興ビジネスの動態」第 45 回日本インドネシア学会 (2014 年 11 月 16 日) 於: 神田外国語大学
- (単) 「インドネシアにおけるイスラム新興ビジネスとその担い手たち～イスラム思想、イスラム運動との関わり～」第 44 回日本インドネシア学会 (2013 年 11 月 10 日) 於: 摂南大学
- (単) 「インドネシアにおけるイスラム新興ビジネスとイスラム思想～ムスリマ専用サロンとイスラム教義～」第 43 回日本インドネシア学会 (2012 年 11 月 18 日) 於: 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス

- (単)「インドネシアにおける女子割礼をめぐる状況—女子割礼をめぐる言説とその実践—」第42回日本インドネシア学会(2011年11月13日)於: 京都産業大学
- (単)「近代派」イスラム組織ムハマディヤーの伝統と現代インドネシア・イスラム社会」,第41回日本インドネシア学会(2010年11月14日)於: 拓殖大学
- (単)「ナフダトゥル・ウラマーにおける保守派とリベラル派の対立～女子割礼をめぐる～」,東南アジア学会 九州地区研究会 (2010年5月29日) 於: 九州大学六本松キャンパス
- (単)「インドネシアにおけるイスラムとジェンダー —実証研究からみえてきたこと—」,九州地区研究会 (2007年2月16日) 於: 九州大学六本松キャンパス
- 「インドネシアにおけるイスラム教義の理解と実践に関する実証研究—アンケート結果の分析(その1)」第38回日本インドネシア学会(2007年11月11日) 於: 南山学園研修センター

その他

<国際会議、公開講座など>

- Branding Halal di Jepang tantangan dan prospeknya, SEMINAR NASIONAL Literasi Jaminan Produk Halal Dalam Mendukung Pengembangan Ekonomi Pariwisata Halal, 8 March 2022. Universitas Negeri Malang
- “Let's Understand about ‘Halal alcohol’ Don't afraid to eat Shoyu senbei,” in Webinar JAHRIA (Japan Halal Research and Information Association) Ke-dua,” 11th February 2022.
- “Additional information about Japanese cuisine seasonings,” in Webinar JAHRIA (Japan Halal Research and Information Association) Ke-tiga, 11 March 2022.
- “Industri Halal di Jepang: Peluang Pasar dan Kerjasama dengan Muhammadiyah” Pengajian Pengurus Pusat Muhammadiyah, via zoom meeting, 2022年2月11日
- Halal Education: Islamic Teaching and Practices for Global Education, The Necessity of a Global Perspective in Halal Education to build Peaceful and Harmonious Society in Muslim Minority Countries, the 2nd International Conference on Halal Development (ICHAD) 2021, 5 October 2021
- A Brainstorming Session to Set a Minimum Standard for Domestic Halal Service in Japan, held as organizer of “Kitakyushu Muslim Friendship Promotion Project,” 30th July, 2021.
- Follow-up Meeting for Establishing a Minimum Standard for Domestic Halal Service, held as organizer of “Kitakyushu Muslim Friendship Promotion Project,” 27th August 2021.
- “Current State and the Transformation of Female Circumcision in Indonesia” ASIA PACIFIC CONFERENCE 2019, Ritsumeikan Asia Pacific University (APU) in Beppu, Oita, Japan, November 30-December 1, 2019.
- 「インドネシアにおける一夫多妻婚、秘密婚、異教徒間の結婚について」KFAW アジア研究者ネットワークセミナー イスラーム・ジェンダー科研 公開セミナー 「イスラーム世界の結婚最前線」(2017年10月22日) 於: アジア女性交流・研究フォーラム
- ”The Image of Islam in Japan; Muslim Children and their Mothers are “Real Ambassadors”of Islam in Japanese Society.”The 6th World Peace Forum (第6回世界平和会議)(2016年11月3日) 於: インドネシア共和国、ジャカルタ、Grand Sahid Jaya Hotel Jakarta.
- イスラーム公開講座「最近のインドネシアムスリムの動向」日本ムスリム

協会主催 (2016年10月30日) 於: 筑紫ロビジネスセンター

- Dinamika perkembangan Bisnis Islam baru di Indonesia” ASJI (インドネシア日本研究学会) 主催研究会 (2015年 3月3日) 於: インドネシア大学、日本研究センター
- 「インドネシアにおけるイスラムとジェンダー」アジュマルディ・アズラ氏 福岡アジア文化賞 受賞記念市民フォーラム パネルディスカッション パネリスト (2014年9月21日) 於: アクロス福)
- Public Lecture : “Tinjauan Multi – disipliner terhadap Muen Shakai pada Masyarakat Jepang dewasa ini.” (現代日本社会における無縁社会に対する学際的考察) ダルマ・プルサダ大学, ASJI (インドネシア日本研究学会) 主催公開講演会 (2013年9月11日) 於: インドネシア共和国
- International Conference on Muhammadiyah (ICM) 2012, Indonesia. 29 November – 2 December 2012. "Progressiveness and Conservatism with respect to Islamic Teachings among Grassroots Members of Muhammadiyah: Regional Differences and Comparisons with NU ~Survey Results and Some Contemplations about Gender Issues in the History of Muhammadiyah~"
- “Islam and Gender Mainstreaming in Indonesia”, Seminar of Indonesia: Indonesian Student Association in Japan (立命館アジア太平洋大学&インドネシア共和国大使館主催、(2010年2月6日) 於: 立命館アジア太平洋大学)
- 「ジェンダーの視点からみた近代派イスラームと伝統派イスラーム」南山大学アジア・太平洋研究センター主催セミナー (2009年2月22日)
(単) “Changing Japanese Society and Women” 日本インドネシア国交樹立 50周年記念シンポジウム, (2008年11月1日) 於: インドネシア、ジャカルタ

<翻訳・紹介>

- (単) 翻訳・紹介「現代インドネシアの詩と詩人～その3ーティムール・シナール・スプラバナ (Timur Sinar Suprabana) 氏の詩ー」九州国際大学社会文化研究所 紀要第76号 (平成27年9月), 2015年9月, pp.67-110, 査読無.
- (単) 翻訳・紹介「現代インドネシアの詩と詩人～その2ーAbdul Hadi 氏の詩とイスラム神秘主義文学におけるシンボリズム (アッタールの鳥の諷諭の伝播)ー」『社会文化研究所 紀要』第74号、2014年8月、pp.33-67, 査読無.
- (単) 翻訳・紹介「現代インドネシアの詩と詩人～その1ーA.ムストファ・ビスリ師 (A.Mustofa Bisri : 通称グス・ムス) の詩ー」『社会文化研究所 紀要』 第72号、2013年8月、pp.69-94, 査読無.

<ニュース・レターなど>

- 「LGBT問題をめぐるモラル・パニックー刑法改正案とLGBT運動を取り巻く状況ー」『インドネシア・ニュースレター No.98』 日本インドネシア NGO ネットワーク 2018年9月, pp.2-13, 査読有.
- 「アホックの収監とハビップ・リジックの逃亡から見えてくること」『インドネシア・ニュースレター No.95』 日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI) 2017年9月, pp19-31, 査読有
- 「宗教的少数派に対する暴力事件の背景～反シーア派運動を中心に～」『インドネシア・ニュースレター No.92』 日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI) 2016年8月, pp.2-11, 査読有.

- 「インドネシアのイスラミック・ファッション業界とイスラム思想」『インドネシア・ニュースレター No.89』 日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI) 2015年9月,pp.20-34,査読有.
- 「インドネシアのムスリマ専用サロン」『インドネシア・ニュースレター No.83』 日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI),2013年8月,pp.48-57,査読有.
- 「イルシャッド・マンジ、レディー・ガガ、イスラム過激派 FPI(イスラム擁護戦線)～揺さぶられるインドネシア/イスラム社会」『インドネシア・ニュースレター No.80』, 日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI) ,pp.36-47,査読有.
- 「通称『ニカ・シリ法案 (ドラフト)』をめぐる騒動」『インドネシア・ニュースレター No.71』 日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI) ,2010年3月,pp.34-44,査読有.
- 「大統領選と『スカーフ騒動』」『インドネシア・ニュースレター No.68』 日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI) ,2009年8月,pp.20-27,査読有.
- 「イスラム社会の新たな亀裂(モナス事件とポルノ規制法)」『インドネシア・ニュースレターNo.66』 日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI) ,2009年2月, pp.36-44,査読有.

■ 大学就任以前の主な業務上の実績

()年 月	特になし
--------	------

■ 主な所属学会

東南アジア学会、日本インドネシア学会、日本イスラム協会

■ 受賞等

()年 月	特になし
--------	------

■ 研究助成金による研究

- 2022 年度— 科学研究費助成金[基盤研究 (B)]研究課題「グローバル時代におけるハラール基準の標準化と多様性の動態」(研究代表者)
- 2019 年度— 科学研究費助成金[基盤研究 (B)]研究課題「ポスト植民地における女性の身体—東南アジアとアフリカの「女性器切除」—」 (研究分担者)
- 2012 年度—2014 年度—科学研究費補助金[基板研究 (C)]研究課題「インドネシアのイスラム復興現象と新展開—イスラム新興ビジネスの発展と動態—」(研究代表者)
- 2004 年度—2006 年度 科学研究費補助金[基盤研究 (C) (2)]研究課題「インドネシアにおける民主化とジェンダーの主流化」(研究代表者)
- 2001 年度—2002 年度 科学研究費補助金[基盤研究 (C) (1)]研究課題「NGO はジェンダーの主流化の進展にどのような役割を果たしているか—東南アジアを中心に」(研究分担者)

社会における活動等

2021年9月～ ハラール対応講師活動の開始（オンライン）
オンライン公開講座の主催（九州国際大学、地域連携センター事業）
2021年8月「ベジタリアン対応連続講座（5回）」2022年1-3月「ハラール対応連続講座（4回）」
ハラールに関する第3回公開シンポジウム主催「グローバル化時代におけるハラール産業～日本の国内向けハラール・サービスの現状とこれから～」2021年10月30日
2019年度 科学研究費審査委員（社会学関連）
2018年度 科学研究費審査委員（社会学関連）
2019年4月—九州国際大学現代ビジネス学部「北九州ムスリム・フレンドリー推進プロジェクト」事務局

大学運営活動等

教務委員